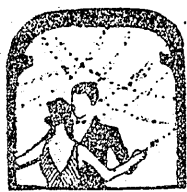


定価 一部全電線... 昭和十一年八月九日



盆踊考

【六】

生

歌垣の痕跡と見るべき習俗

琉球八重山島に『まくら遊び』と稱する習俗ありて、春秋二季、村外の小高い岳の芝生に於て男女三味線につれ琉歌を唱和し、娘が舞ひ出せば相手の男も浮れて互にもつれ合つて躍り、席を亂し、夜の明けるとつれて、でかよ天川や島横になりたい

今夜や立別て明晩も遊ば

と離別を悲しむと云ふ。(註四)

D、雑魚寝の民俗

昔は大原の雑魚寝と云われ、山城國愛宕郡大原村江文明神の祭禮は社内は幾多の男女よつて集合し村内の妻子奴婢を選ばず旅人に至るまで亂交し寝所を同じうしたと(註五)

以上の如き類例の掲載は一步誤れば猥褻に隨する虞れがあり、發表紙の性質上之を割愛し又磐城地方に於ける奇習の摘採も躊躇するのやむなきに至つたが、習俗の常とし彼等自由の結合

の前奏曲としては必ず舞踊と歌謡とが行われたことに就て吾人の見のがされぬ事實である。

註一 民俗學者ネフスキ一ノ氏説

註二 中山太郎氏著『日本民俗學』據る

○明日の献立

○朝オートミル 牛乳

○畫 オムライライス(玉葱 みぢん切り)

○晩酌の物 白順干と大根おろし 甘酢 椀 冬瓜うすくず

註三 金城朝永氏著『異態習俗考』據る

註四 伊波並猷氏筆『八重山のまくら遊び』據る

註五 田中番澤氏『著我國に於ける女子共有の民俗の考證』に據る

4、異説考察

女子の結婚資格が社会的に附與され、多勢の人々に成女式を兼ねたる披露的场所と見るべき『成女説』或は『腰部筋肉説』踊る時は心臓の鼓動が重くなり、よつてアドリの言が發生したとの『感情説』等があるが、古賀斌氏の所説には其の源流を上古人類の征服力に求め、即ち獵に於てとか他部落の襲撃の門出として武運の祝福或は征服の歡喜を象つた行動に外ならないとの論(註)に對し幾分の疑義と反證を上げ得られべく、異國はいざ知らず我が邦に於て之を見るに筆者は理解し得ぬ点が多いので詳説は特に省略する。

註、犯罪科學第三卷第三號所載

▽佛教傳來と歌垣

百濟より宮中に佛像佛經を獻せられて以來、蘇我、物部兩家の争ひは必然と宗教的争闘と化し、玄昉、道

安齊外科醫院

平町・田町 電話四七五番

鏡時代の藤原氏との佛教派の争は宗教上よりもむしろ政治的暗流が濃厚になると共に、菅原氏の出現に於て完全なる政黨派の争赴となり社會機構の綾をなして白日のもとに曝露したのである。

工 電燈、動力、新設、設計及改修
工 工事致します。何卒御引立の程御願ひ申し上げます
公認 日東商會

門 專 産 婦 人 科
花柳病科
井坂醫院
平町田町 電話五五九番

和洋 家具 器具
片寄製作店
平町五丁目四 電話四八四番

暑中御伺
是非! チンドンヤを
御利用下さい
丸屋春日亭米之へ

毎度御引立... 藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物
アイスクリーム アツキアイス
電話一四一番

明雲堂眼科醫院
新妻幸之助
電話六六九

軍服と紳士服調製
菊地洋服店
電話(呼)二八番

# 近づく舊盆踊りの魅力 早くも地方に横溢

## トツプを切つた平の念佛踊

十七日夜八時半頃平驛前廣場で飯野村大字下高久青年團一行のジャンガラ念佛踊が突然展開され當地地方盆踊のトツプを切つた夜の景物として涼を追ふ黒山の人達で賑つたがこれは昨十七日雑誌家の光所屬漫書家連の漫書の旅行を迎へて郷土磐城紹介のためローカルカラーたつぷりな前記ジャンガラを選び催されたもので一句と餘日に迫つた舊盆を前にして驛前廣場は人々々の全くの人波に埋まり同驛乗降の旅客も物珍らしく密集して見物する等早くも『オ盆氣分』が横溢した。尙平町では近づく舊盆の

## 最近の冷氣來に 平驛乗降客激減

手持無沙汰のうちに

### 七夕祭と舊盆に期待

八月も十八日となり真夏の峠も漸く下り坂となつたので平驛の海水浴客は最近俄に減じ一日平均二千五百人あつた乗降客が昨十七日は乗車千四百八名降車千四百三十七名、去る十六日の日曜でさへ僅かに乗車千五百四十二名降車千六百五十九名に減じてゐるので平

前奏曲として近年頗に隆盛を加へて來た色紙藝術の七夕祭が年毎に人氣を得て本場の仙臺市の七夕祭を凌ぐ程の絢爛・華麗な本格のものとなり本年も既に平商工會、並に關係各區から出席して打合せを再三行ひ更に豪華を競つて來る廿三日から三日間催されるが同町銀座會も色紙藝術創作の秘策を練つて参加することになつたので同町は正に五色絢な七夕飾の豪華一色に包まれいやが上にも盆近づくの魅力が咬られることになつた

## 四倉局竣工

四倉町郵便局は去る六月以

## 鎌先温泉便り

### 青沼町長近況

此度の奇禍に際しては不一方御配慮を煩はし御多忙屢々病床御慰問被下御懇情奉謝候當温泉入浴後御蔭様にて経過良好昨今未だ腰部疼痛を感じ起居不便に候へ共日毎に輕快に起き乍憚御省慮被下度候何れ近日中拜呈謝辭申し上ぐべく候右御禮旁々近況御報申し上げ候 (青沼)

未納賦課金未納者 鮫川江

第十年度賦課金の未納者は過般來の第一次、第二次整理で現在は五名(玉川二小名三)の七圓五錢であるが來る二十八日最後の公賣整理断行する

## 平局業務刷新

平郵便局は明十九日午前十時から同局樓上で業務改善委員

## 貴重な一点を失ひ

### 平局チーム惜敗

縣下優勝の機を逸す

既報去る十六日郡山市に開催された縣下一等局野球

來二階建コンクリートのモダンな局舎建設工事中であつたが此竣工昨十七日移轉した

## 防空演習豫行

### 内郷村で執行

内郷村級隊では來る九月十一、二の二日間縣下一齊に行れる防空演習に備へ此程これが豫行を行つたが三十分間に亘り驛構内の各高燈は總べて黒布で覆ふ等鮮やかな燈火管制振であつた

## 災害復舊調査

### 各分團猛練習

木課遠藤河川主任技師は二十日來郡郡下に於ける災害復舊工事種調査を行ふ

## 平職界紹介所報告

- △出前持 十八才迄 給五圓 尋卒
- △小店員 十九才迄 給十圓
- △雜夫 二十才迄 給八圓
- △トラック助手 廿才前後 給面談 尋卒 以上
- ◇ 職を求め方
- △寫眞見習 仕着小遣
- △店員 十八才 高卒
- △日立機械工 十八才 高卒
- △日立職工 十八才 高卒
- △機械見習工 二十才 高卒

## 工場員募集

平工場作業員 二名  
三十歳前後

川崎工場見習 三名  
十六、七歳前後(賄付外手當支給)

希望者は至急來談あれ

## 石綿ムシカマド製作所

平材木町(電話一三七番)

## 御位牌と 佛壇佛具

品よい 安い

橋本屋

平・新川町 電話一六三

## 御戒名提灯

特製スソ模様入レモ出來マス……

## 岐阜提灯・變形提灯

……各種取揃へました……

是非御用命は！格價低廉の

スガノヤ提灯店へ

平四 電話四九五番

## 御禮

生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。就ては御禮として毎土曜日を

黒ビールデーとして御奉仕いたします。

平會館

電話六二四

# 考へたりな妙案

## 不敵！をどる少女

背後で糸を操るか？

### 巧みに世の同情を喰ふ

#### 術戦欺詐案新

平野前廣場の一隅に昨十七日夜八時頃「五十銭あれば家に歸れるんだよ」と迷ひ見ると見ゆる才位の女子が人々の同情をひいてゐたか何の聴えても「湯本だ」とのみで後は何も語らず金さへあればと執拗に言ひ續けてゐたが巡査と聴くと何故か姿を何時の間にか消して終ひ人々を不審がらせてゐたが最近平地方に同年位の女兒が左記の如き新術の詐欺的手段を弄してゐるものがあるのので一般から注意されてゐる

#### 着衣の儘激流に飛込み 溺れる電氣商を救助

平町研町電氣器具商石田亮三郎(三)君は去六日大浦村夏井川河口で弟の義雄氏と共に遊泳中激流に捲き込まれて深みに押流され危く溺死せんとしたのを附近で魚釣中の平町五色町貨座敷業榎山謙(三)氏が発見着衣のまま飛込み勇敢にも救助したので本十八日平署では縣へ人命救助で表彰方上申した

過日平町田町附近で使ひに來た途中五十銭玉を溝に落したと溝中をかき廻して同情ある人から五十銭を貰つて歸つた湯本と自稱する女兒があつたが同日同町立町附近で又も前記子供が前同様の方法で溝を探してゐるのを見受けられたので始めて巧妙な詐欺手段と判明、背後に糸を操る者があるらしので童心をむしばむものとして識者の眉をひそめさせてゐる

#### 無軌道當世娘・二題

貧乏は嫌と女給稼ぎ

涙の父親は嘆く

平町南町カフエーナ、事太田やす方女給茨城縣日立町電工善作長女渡邊きみ(三)は昨年一月家出以來、前記カフエーで稼ぎ最近居所を知つた父親の再三の歸宅進めにも「貧乏暮しよりも女給の方がいゝわ」とばかり借金があると稱して歸宅せず苦しい生活から四十圓を工面して來平した父親に歸らぬと玩張り始末に負いず思ひ餘つて十七日平署人事相談係へ説諭方願ひ出た

音信が再度あつたので心配した父の善太郎さんが尋ねて見たが新宿管内には見當らず同女は以前から女給商賣に入ると口癖にしてゐたので若い娘に間違ひがあつては取返しがつきませんと本十八日平署へ捜査方願ひ出た

明日の部

今晩の部

後六、〇〇 お話「海邊の貝」瀧野(廣島)

後六、二五 趣味講座 史蹟巡り「京都に於ける明治維新の史蹟」出雲路通次郎(京都)

後七、三〇 講演「電氣萬能の夢」密田良太郎

後八、〇〇 盆踊大會 大入眼とある

阪 廣島 熊本より

後八、三〇 筆曲「夕顔」五段(碓) 野坂輝壽他

後九、〇〇 長唄連夜三題「鳥羽の戀塚」吉住小三藏他

後九、三〇 時報 ニュー・ス 明日の話題 氣象通

明日の部

前六、三〇 英語會話講座 ジョンス パーカー

前七、〇一 朝の修養「寒山詩提唱」山崎大耕

前七、四一 中等學校復習の時間「地理」鈴木會次

前八、一〇 小學生おさらひの時間「理科」佐々木榮壽

前八、四〇 婦人夏季講習「音樂」邊尚雄

前九、一〇 全國中等野球(甲子園球場中継)

前二〇、三〇 家庭講座「子供と母の歌のお稽古」弘田龍太郎 木村百合子

後〇、〇五 和洋合奏 サ

前六、三〇 英語會話講座 ジョンス パーカー

前七、〇一 朝の修養「寒山詩提唱」山崎大耕

前七、四一 中等學校復習の時間「地理」鈴木會次

前八、一〇 小學生おさらひの時間「理科」佐々木榮壽

前八、四〇 婦人夏季講習「音樂」邊尚雄

前九、一〇 全國中等野球(甲子園球場中継)

前二〇、三〇 家庭講座「子供と母の歌のお稽古」弘田龍太郎 木村百合子

後〇、〇五 和洋合奏 サ

前六、三〇 英語會話講座 ジョンス パーカー

前七、〇一 朝の修養「寒山詩提唱」山崎大耕

前七、四一 中等學校復習の時間「地理」鈴木會次

前八、一〇 小學生おさらひの時間「理科」佐々木榮壽

前八、四〇 婦人夏季講習「音樂」邊尚雄

前九、一〇 全國中等野球(甲子園球場中継)

前二〇、三〇 家庭講座「子供と母の歌のお稽古」弘田龍太郎 木村百合子

後〇、〇五 和洋合奏 サ

前六、三〇 英語會話講座 ジョンス パーカー

前七、〇一 朝の修養「寒山詩提唱」山崎大耕

前七、四一 中等學校復習の時間「地理」鈴木會次

前八、一〇 小學生おさらひの時間「理科」佐々木榮壽

前八、四〇 婦人夏季講習「音樂」邊尚雄

前九、一〇 全國中等野球(甲子園球場中継)

前二〇、三〇 家庭講座「子供と母の歌のお稽古」弘田龍太郎 木村百合子

後〇、〇五 和洋合奏 サ

家出の妻が 酌婦稼ぎ

伊達郡森江野村農芳治妻佐久間ツイ(三)は去る三月中国家出最近になつて平町うち料理店に酌婦として稼ぎゐる様子あるため本十八日夫から平署へ捜査方願ひ出たが同女は多少精神に異常を呈して居ると

初等教育研究 郡下小學校教員より成る初等教育研究會の理科部主任會は來る九月二日午前十時から平第一校會議室に開かれる

体操講習終了 既報去る十六日から平第一小學校で本縣主催の下に行はれてゐた郡下小學校教員の体操講習會は今日終つたが連日三百餘名の出席者あり頗る盛會であつた

窃盜少年 起訴さる

既報少年故に十數回不起訴處分を受けなが改心もせず罪を重ね各地を轉々流浪してた豊間村箱崎幸吉(八)假名は過般來平檢事局で氏家檢事の取調べを受けてたが今十八日遂に窃盜罪として起訴公判に廻された

窃盜犯に求刑 既報現金専門に演進りを荒し廻り二百五十餘圓の窃盜を働いた双葉郡龍田村鈴木徳男(三)の公判は今日午前十時から平區で香西判事係り氏家檢事立會の下に開廷

妻子の知ぬ間に 家財を賣飛ばす

借金苦に悩む 情婦と駈落す?

湯本町大字湯本字三國三一人は日頃借財を苦しめてゐたのと、過般眼病を病んで二本松野地眼科に入院中懇意の女が出来たので兩名共

平町人喜 回出生

△一町目三松本孝太郎氏長女郁子さん

△五町目一八酒井忠二氏長女郁子さん

△五町目二二齋藤惣太郎氏二女色子さん

△南町三〇佐川キクさん(五三)

△鎌田町五三當時東京市深川區千田町一三九君島賢二さん(二ツ)

時計

高橋時計店

平町二丁目 小島員募集委細面議

男充さん

△五町目二二齋藤惣太郎氏二女色子さん

△南町三〇佐川キクさん(五三)

△鎌田町五三當時東京市深川區千田町一三九君島賢二さん(二ツ)





悟道軒圓玉(作)  
尾至陽(書)

二〇〇 良澤の大あせ  
常陸屋半蔵は彈正臺に屬した今で申す刑事、慶應の末年には幕府の制度は破壊されて町奉行の代りが彈正臺、これは丸の内にあつたが官軍は戦勝の威力を市政にまで發揮した、さういふわけで常陸屋半蔵の今は彈正臺を權にさして威嚇してゐる。

醫者の良澤は何んなことを問はれるかと半蔵をテロ／＼見て

良『わしは貧乏醫者にはござるが御法度にそむいたことはいたしません』

半『それについて聞くことがあるんだ、一体醫者の藥禮はいくらが相場だ』

良『一貼三分禮としてござる』

半『三分ならば錢にして五十か六十、百はならねえそれをお前は病家から十兩取つたさうだ、どんな藥を飲ました、朝鮮人蔘を煎じてそれで行水をつかへばとて十兩はかゝるめえ』

良『その御不審は御尤もでございますが私は外科でございます、療治の難易によりまして手術料に多少ござる、怪我人を療治いた

したに就き十兩貰へばとてそれが御法度に反したことではありますまい』

半『理屈をいふな、その病人は何處の者だ』

と問はれて良澤はこの答へには窮した。といふのは患者は上野の戦より落ちて來た彰義隊、こゝにゐるこ



とはいつてはならぬと高木伊兵衛から頼まれてゐる、さすればこのことを云へば伊兵衛は勿論、負傷になやみ居るその人も迷惑する。ハテ何んと答へにものかと考へた、半蔵はこれを見ます／＼疑念がたかまり

半『良澤、貧乏なわれが酒屋の拂ひもして奇麗にすれば米屋や薪屋の拂ひもして高利で借りた金まで返したさうだ、それには十兩療治代を取つたことだだが玄關をかまへて長棒の駕に乗る病家に行く醫者ならば藥代の他に禮金として十兩受け取ることもあらうが按摩同様なお前が十兩の療治代を受け取るとは奇態なことだ、毒でも盛つたかきア有体に云へ』

良『これは困りましたな、決して不正な金ではござりませぬ』

半『不正な金でなくば云へるはずだ』

ます、さてへて見ると不思議なこと、今思へば夢の様でござります』

半『それは何んなことだ』

良『實は斯様なわけでございます、一昨晩のことでありました、九ツ過ぎに駕をつらして病家よりむかひに参りまして、怪我人があると聞いて早速出向くことに致し、その駕に乗りまして、その東の方を指して参つたやうでございます、その内に雨が降つて参りまして、駕には覆ひをかけたか、外が少しも見えませぬ、トやかて覆ひのぞき籠の戸を開きましたから出て見るとおどろきました、廣々たる座敷で銀燭の光り輝き渡りイオその明るいこと白晝のやうでございます、これは大名の住居かと思ひましたがイヤ待て今江戸には大名は居らぬ、豪商の別荘と存じます、と、ころへ若い美しい女が出て参りました、これへお通りくださいと病間に案内されましたが金屏風を立てまわしその間に臥して居りますは六十才あまりの老人でござりまして、それが怪我人をして居ります、傷を見ますと鐵砲傷、何うしてこんな傷を受けたと聞きますと上野の戦ひでの流れ弾に中つたとの事まづ療治を加へ戻るとの事まづ療治を申して十兩くれました、再び駕に乗つて戻りましたがこれが半蔵もたらした因縁でございます』

半『その老人は何者だ、イヤ怪我人の身分は』

良『まつたく療治代として受け取つたものに相違ござりませぬ』

半『その病人はどこの者だ病家は知つてゐるであらう』

良『ハイそれは何んぞござりませぬ、これには仔細がござ

良『さてこれが不思議でございます』

良澤は汗をながした。

花柳病科外科  
**木村外科醫院**  
平町六丁目橋際 電話三〇九番

市原醫院  
平町・四町  
電話一四四番

井坂醫院  
平町 田町  
電話五五九番

石炭 平驛前  
コークス 阿部石炭店  
豆炭 電話三十七番

御中元 用品の大賣出し  
仕着せ

全店清新たる夏の商品豊富絶好の特價品!!  
八月十七日ヨリ……七日間

◇獨特のおつとめ品

結 締 絹	金七十錢	夏セ	金二圓八十錢
越後上布	金七十八錢	最新柄	パラメント友仙
ツヨセツト小紋	金一圓五十錢	一支モノ	金七十八錢
音曲本染中形	金一圓五十錢	着尺	モスリン
絹麻小紋	金三圓	東京中形	金九十五錢
		銘仙男女向	金二圓五十錢

□盆踊用に文化手拭と粹な伴天新發賣  
いま流行の日本一手拭と粹な踊り半天を陳列致して御座居ます是非御覽の上御用命下さい

□雜貨洋品大廉賣  
あらゆる雜貨洋品、タオル箱入、敷布箱入、など贈答品に適當な御價廉の品が豊富に取揃へて御座います

□京吳服赤札附特賣  
高級な西陣製品を思ひ切つた赤札、是非御覽の上御用命下さい

御贈答に 重寶な 商品券

三井吳服店  
電話二三八番

御進物に 鯉節

貝燒 鯉鹽から

魚問屋  
榮盛賀志  
目丁四平 電話一三二番